

第三の👁️! 三院制

近年の国会では、政治家自身の勝手な意見がまかり通り、国民の声が届いていません。政治家はマニフェストを掲げていますが、そのほとんどは達成できていないのが現状です。しかも、政治家が不祥事を起こすことが頻発し、日本の政治への信頼が失われています。

そのため、若者の政治への関心は薄くなり、今の首相が誰であるかもわからないことがあります。それだけでなく、せっかく選挙権があるのに、面倒くさがって投票に行かなかったりする人も大勢います。若者が政治に関心を持たなくなれば、いわゆる堅物の高齢の政治家ばかりの、独りよがりな政治になってしまいます。

政治に**新しい考え方、発想**がなくなってしまうのです。

国民の声が届かない政治が行われているため、国民には不満がたまっています。国民は政治自体に興味がなく、政治不信により選挙の投票にも行かないくせに、不満だけは言っています。このままでは、**日本の政治そのものが危ういものになってしまう**のではないのでしょうか。

わたしたち未成年は被選挙権も選挙権ありませんが、だからと言って全く政治に関わらないのはおかしいです。「未成年で自分たちにまだ関係がない」と、他人任せで不満だけ言うのはいけないと思います。

そこで、わたしたち未成年でも政治家と対等に話し合えるような政治制度を考えました。今の政治の仕組みは参議員と衆議院の二院制ですが、**第三の議院 → 純議院**を作ることを提案します！

? 純議院とは

純議院は、15歳～18歳の青少年議員のみで構成された議院で、参議員・衆議院と同じ立場で意見を言うことができます。名前の由来は「何にも染まらない、染まっていない純粋な議院」です。

? 純議院の仕事

参議員・衆議院で可決された案をもう一度話し合います。本当にこれでいいのか、実現可能な案なのかを考えます。他には、純議院の中で出た案を国会に提出することもできます。

純議員の本業は学生です。したがって、平日は学校へ通い学業に専念してもらいます。純議員が集まるのは週末(休日)です。臨時国会や特別国会があり平日に国会に行かなくてはいけない時は公欠になります。

? 純議員の選び方

日本中の15歳～18歳の学生の中からクジで純議員候補を選びます。誰にでもなる機会があります。

候補者に選ばされると、政府から通知が届きます。どうしても議員になれない理由がある場合のみ辞退が認められます。辞退をしなかった候補者でもう一度クジをして、正式な純議員100人を決めます。

? 純議院の議会場所

中立的に監視をする、という意味で国会議事堂のセンター裏(参議院と衆議院の間)に新しく純議院の議会を設置します。

若い世代の人が直接政治に参加し、発言することにより、今までになかった新しい発想や若い人の政治への関心が高まります。その結果、政治不信や若者の政治離れといった問題が解決し、日本がよりよい国になっていくのです!

